



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	一般国道294号 真岡市 <small>くげた</small> 久下田～ <small>てらうち</small> 寺内 二宮拡幅 L=4,100m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

事業の概要

【目的】

一般国道294号は、常磐自動車道谷和原ICと東北自動車道矢板ICを結ぶ高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成する広域道路である。

本工区北側では、国道408号バイパスの整備が進められており、令和7年度には真岡南バイパスが4車線で供用開始する予定であることから、更なる交通需要の増加が見込まれる。

本事業により、事業区間の4車線化を図ることで、地域間の連携・交流の強化や産業活動の支援等を図るものである。

【事業概要】

※（ ）は前回評価時

目標事業期間	(令和2年度～令和7年度) 令和2年度～令和9年度
事業経過	令和元年 新規事業評価（前回） 令和2年度 用地調査・用地取得等に着手 令和3年度 工事着手 令和6年度 再評価（今回）
全体事業費	(20.0 億円 [うち用地補償費 1.0億円]) 37.0 億円 [うち用地補償費 3.5億円]
事業延長	L = 4,100m [うち整備済み L = 0m]
進捗率	基準年次：【令和6年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 19.9億円 54% [うち用地補償費 3.5億円 100%]

【事業概要図】

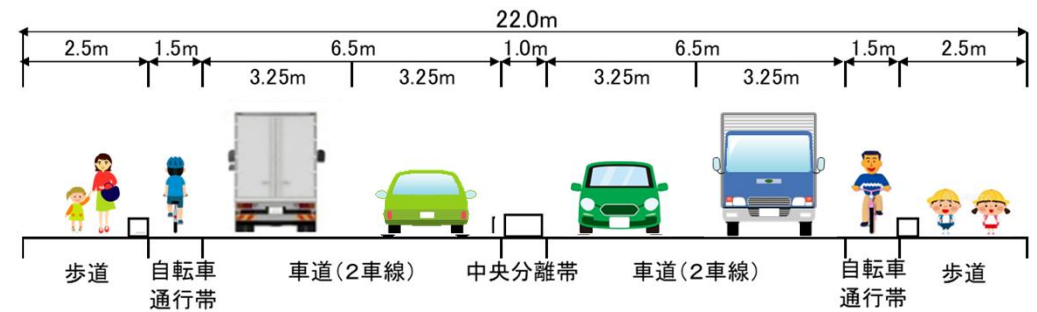


事業の概要

【事業内容】

事業延長	4,100m
標準幅員	22.0m ※横断構成は標準横断図のとおり
道路区分	第4種第1級
車線数	4車線
計画交通量	34,000台/日 (R22推計値)

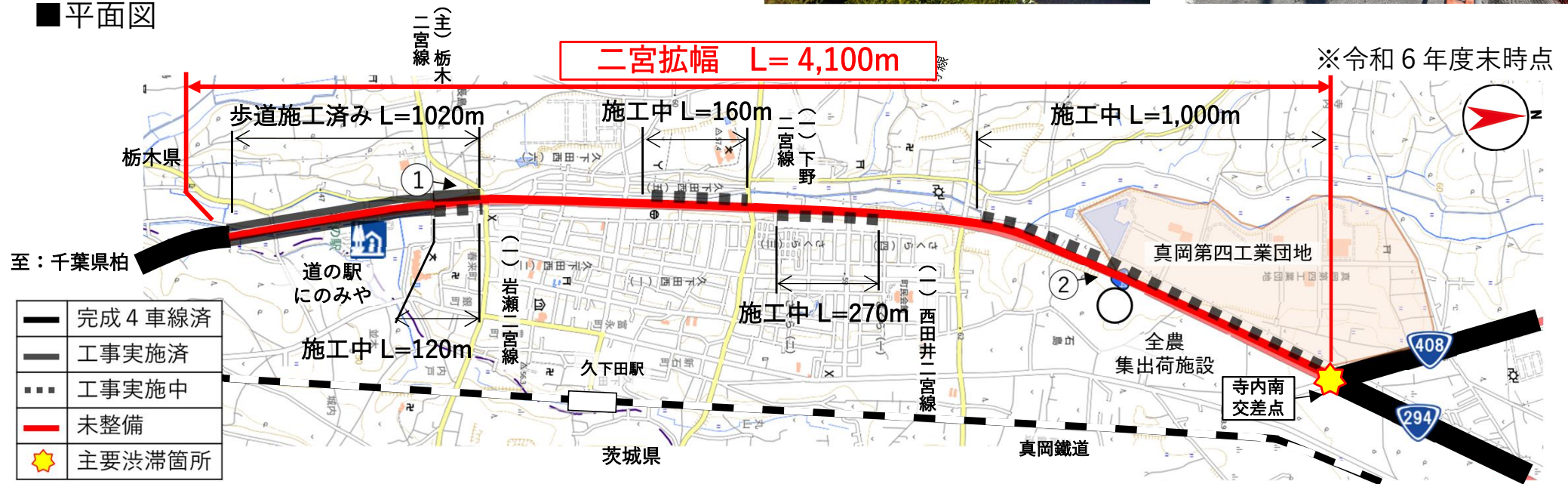
標準横断図



現況写真



平面図



II 事業の評価

【事業期間の見直し】

令和7年度 ⇒ 令和9年度（+2年）

【全体事業費の見直し】

		前回計画 (R1年度)	⇒	今回計画
	全体事業費	20.0億円	⇒	37.0億円（+ 17.0億円）
内	工事・測量設計費	19.0億円	⇒	33.5億円（+ 14.5億円）
訳	用地補償費	1.0億円	⇒	3.5億円（+ 2.5億円）

■工事費

- ① 建設資材、労務単価の高騰等による工事費の増額 + 8.5億円
- ② 横断歩道橋等の追加に伴う工事費の増額 + 6.0億円

■用地補償費

- ③ 物件調査の結果、補償費の増額 + 2.5億円

II 事業の評価

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	4.1	138億円	34億円
(2)残事業	8.1	138億円	17億円

注) B/Cの値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

2 事業の整備効果等

- ・広域的な交流・連携の促進と地域の産業支援
- ・渋滞緩和による交通円滑化
- ・災害時の救援活動や物資輸送に資する緊急輸送道路としての機能強化

【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- ・再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。
- ・一部河川が隣接する区間において、河道の移設が不要となる張出し歩道を採用することでコスト縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- ・必要な事業用地は、現時点で96%取得済みであり、工事も一部実施していることから、代替案立案は困難である。

【事業の対応方針（案）】

本計画で事業を継続する。